

広 報 資 料  
( 経 済 同 時 )

平成28年10月12日

高島屋京都店にて  
実演を行います。

(地独)京都市産業技術研究所  
担当：製織システムチーム  
電話：326-6100  
京都市産業観光局  
〔取次：新産業振興室〕  
電話：222-3324

## 「着物・浴衣の3D着用イメージ表示システム」の開発について

(地独)京都市産業技術研究所では、市内産業の振興・発展のために様々な技術的支援を行っております。

この度、和装業界を対象に「着物・浴衣の3D着用イメージ表示システム」(以下「本システム」という。)を開発しましたのでお知らせします。

着物は、初めて触れる方々にとっては、試着が難しく着用状態を確認することが難しいので敬遠されがちです。本システムでは、着物(反物、仮絵羽)や帯を試着することなくPC画面上で着用状態を表示できますので、様々なコーディネートを手軽に確認することができます。また、販売促進のツールとして導入しやすいように、低コストで運用できるよう配慮したシステムとなっています。

10月15日(土)には、高島屋京都店5階呉服売場にて本システムの展示・運用を行いますので、取材いただきますよう、お願いします。

### 1 本システムの概要

着物や帯の柄データを半自動的に作成して3Dモデルへ着用をシミュレートし、パソコン画面上等で表示します。

### 2 本システムの特徴

#### (1) 簡易・低コストで運用可能

汎用のデジタルカメラなどで撮影した商品画像から、自動的に着物各部位の柄を集めて柄データを作成できます。したがって、専門的な知識や撮影環境を用意しなくても、システムを導入した企業等が簡単に低コストで運用できます。

#### (2) 着物に特化した3Dモデル

着物を着用させても違和感の少ない3Dモデルを開発しました。着物については重力計算により自然なしわを表現しています。モデルのポーズや体型を変更して出力することも可能です。3D表示ですので、360度あらゆる角度や距離から着用イメージを確認することができます。

### (3) 表示先のマルチプラットフォーム対応

パソコンやタブレット端末等様々なデバイスで着用イメージを確認できるよう、表示先のマルチプラットフォームに対応しています。Webブラウザでの表示にも対応していますので、ECサイトにおいても活用可能です。

### 3 年間使用料

12,000円(税込)～/年

基本構成：柄データ作成補助ソフトウェア

Windows版運用ソフトウェア

基本モデル(トルソー)、背景(和室)

### 4 提供開始日

平成28年11月1日(火)

### 5 問合せ先

地方独立行政法人京都市産業技術研究所

電話：075-326-6100(代表)

※申し込み方法、基本構成以外の料金など個別に対応します。

### 6 本システムのデモンストレーション

日時：平成28年10月15日(土)

13:00～17:00(予定)

場所：高島屋京都店 5階 呉服売場

#### 〈参考〉 同時開催のイベント一覧

当日、高島屋京都店で以下のイベントが開催されます。

- ・「ツバキ庵」 主宰 モリタマミ氏によるスタイルアップ・トークイベント  
14:00～14:30
- ・「ヒトハリ」 山本見加子氏「刺繍衿の制作実演」  
13:00～16:00
- ・「貴久樹」 かんざし・根付け・ストラップ制作体験(有料)  
13:00～17:00

## 7 運用例 (Windows ソフトウェアでの例)

- (1) デジタルカメラで商品を撮影します。この際、着物の袖や身頃等全ての柄が収まるように撮影します。写真枚数は任意です。

反物の場合  
(着尺模様)



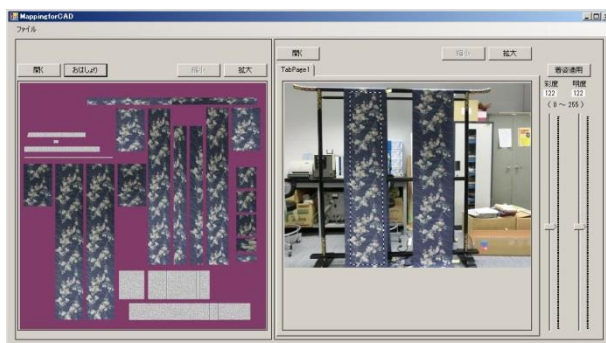
※絵羽模様の反物や図案画像から作成することもできます。  
また、帯のデータも作成可能です。

仮絵羽の場合  
(絵羽模様)



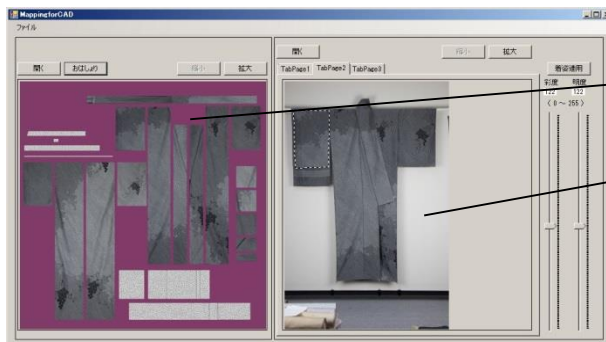
- (2) ソフトウェア補助により (1) の画像データから半自動的に柄データを作成します。

反物の場合



※予め撮影の構図を決めておけば、画像を読み込むだけで自動合成します。

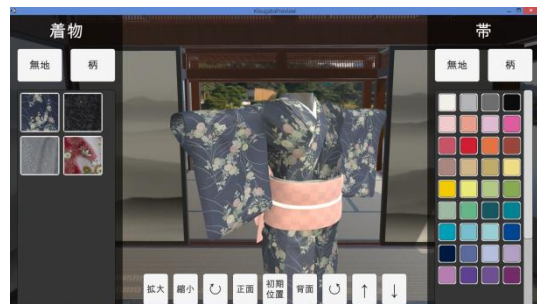
仮絵羽の場合



柄データ

商品写真

(3) モデルへ反映して確認，運用を行います。



対応プラットフォーム : Windows, Mac OS, Android, iOS, Web ブラウザ